

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
アートセラピー I Art therapy I		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(造形表現により自己表現を磨き、感性を高める)	メディカルユニット履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
音楽セラピー I				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
(主) 栃木美保 (外部講師・森憲司)		講義棟1階 講師室	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
様々な素材や表現に触れ、自ら表現をする体験を通して、創造性やイメージの豊かさ、又幅広い人間性の向上を図る。				
授業の目標				
①自らのアイデアを形に表現する色々な方法を学ぶ。 ②創造する過程で思考錯誤を重ね、豊かな思考力を身につける。 ③作品鑑賞の理解と感性の向上を図る。④創造する喜びを得る事でメンタルヘルス、ストレスケアに役立てる事ができる。				
授業の方法				
課題を理解し、自らのアイデアを素材、表現方法を考えて造形表現を試みる。				
学習の成果 (学習成果)				
造形表現の体験を通して、表現の喜び、創意工夫、鑑賞する楽しみを身につける事ができる。素材や表現方法の多様性をする事で、感性を高め精神的な豊かさを得ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 造形表現とセラピーの関係			(森)
第2回目	革細工による造形表現 (基礎 ①)			(森)
第3回目	革細工による造形表現 (基礎 ②)			(森)
第4回目	革細工による造形表現 (応用 ①)			(森)
第5回目	革細工による造形表現 (応用 ②)			(森)
第6回目	色彩について 色彩の基礎 カラーヒストリー			

第7回目	配色 アートセラピー体験
第8回目	五感について 香りの利用法
第9回目	BOX表現① 箱の中に造形表現
第10回目	BOX表現② 箱の中に造形表現
第11回目	空間表現 インスタレーションについて アイデアの検討
第12回目	各自のアイデアをもとに制作
第13回目	各自のアイデアをもとに制作
第14回目	各自のアイデアをもとに制作
第15回目	展示 作品講評

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	課題の内容を考え、制作にまじめに取り組む。アイデアを形に表現する努力をする。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	独創性のある表現を試み、表現の意図を伝える努力をしている。
その他		

教科書と参考図書

材料費に5,000円程度必要（集金は授業の中で）

履修上の留意点・ルール

積極的に授業に取り込む。授業の進行、他者に迷惑になる行為は禁止。遅刻厳禁。授業中携帯電話使用禁止。